

<GAP（農業生産工程管理）について>

【調査の目的】

GAP（農業生産工程管理）とは、安全・安心な農産物を生産するために、生産者自らが出荷物への異物の混入防止、農薬や肥料の適正な使用、農作業事故の防止など、それぞれの生産工程ごとにチェックリストを用いて点検、評価を行う取組のことです。これらの取組を第三者が認証したものとして、GAP認証※があります。

農産物の取引の際に、小売店や量販店の一部では、GAP認証を要件の一つとして求めているところもあり、このような取組が進展することが期待されています。

県では、生産者のGAP認証取得支援を行っておりますが、GAPについては消費者や販売関係者の認知度が低いため、GAPの認知度向上が課題となっています。

このため、皆様のご意見をお聴かせいただき、今後のGAPの取組推進の参考とさせていただきたいと考えております。

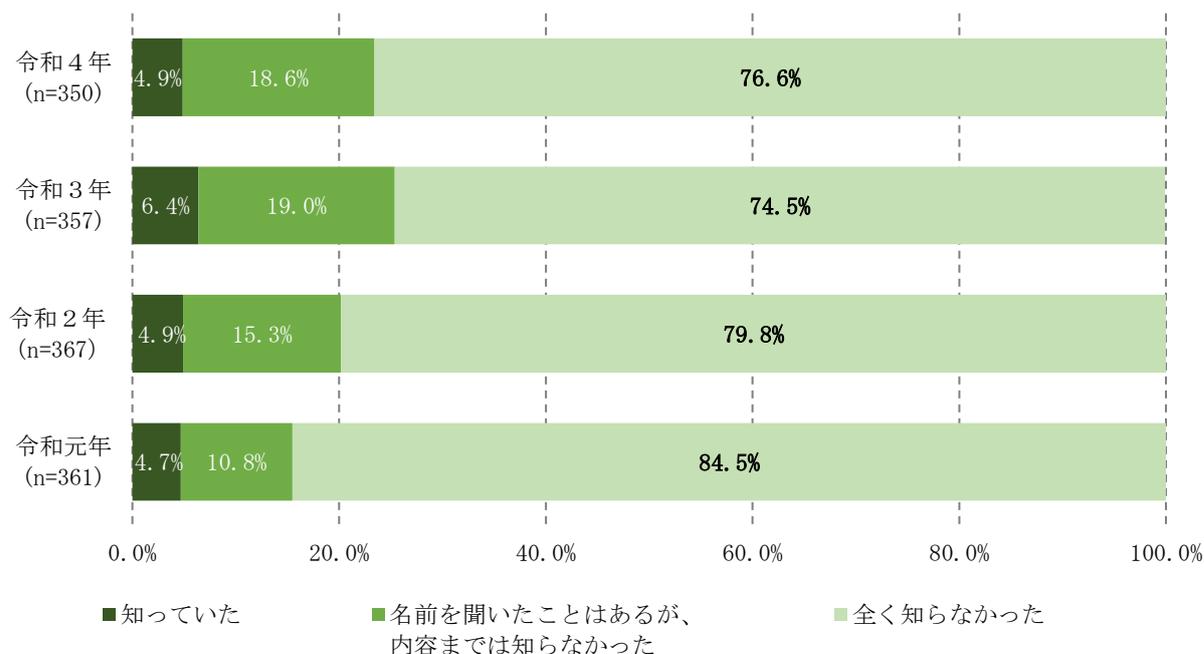
（農林水産部食の安全・地産地消課）

※ GAP認証とは

民間団体による認証には、代表的なものにグローバルGAPやアジアGAP、JGAPなどがあります。また平成30年2月より、県が認証する「福岡県GAP認証制度」が始まっており、生産者による福岡県GAP認証の取得が進んでおります。

問1 あなたは、GAP（農業生産工程管理）について知っていましたか。

次の中から【1つだけ】選んでください。

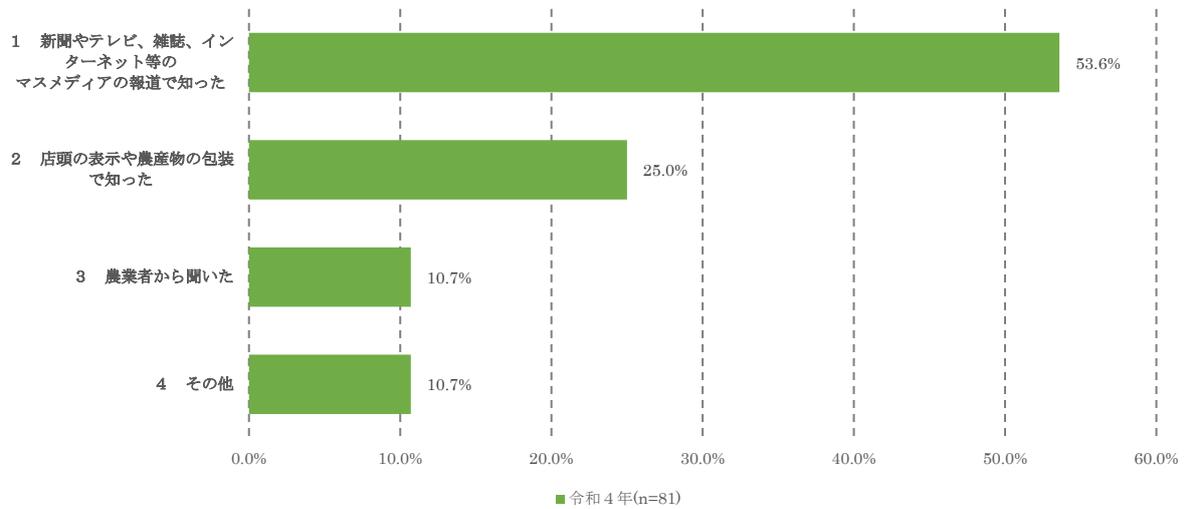


- ・「知っている」、「名前を聞いたことはあるが、内容までは知らなかった」と回答した割合は令和3年度よりも1.9%減少している。それに伴い、「全く知らなかった」と回答した割合は増加した。

問2 (問1で「1」又は「2」を選択された方にお尋ねします。)

どのようにして「GAP (農業生産工程管理)」をお知りになりましたか。

次の中から【1つだけ】選んでください。



・「新聞やテレビ、雑誌、インターネット等のマスメディアの報道で知った」の割合が高いことから、GAPの認知度を向上させるためにはマスメディアの活用によるPRを強化する必要がある。

問2-2 問2で「4」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。

- ・高校時代に農業について研究していたため (20~29歳、北九州地区、女性)
- ・大学での研究課題名だったため (40~49歳、福岡地区、女性)
- ・大学で習った。(18~19歳、北九州地区、女性)
- ・高校の地理の授業で習ったことがある。(18~19歳、福岡地区、女性)
- ・政治経済の授業を履修しており、その過程で学習した。(20~29歳、筑後地区、女性)

問3 あなたは、GAP認証を取得した農産物にどのようなイメージを持っていますか。

次の中から【1つだけ】選んでください。



・農産物の購入をする際に重視する項目は、「安心できる」、「安全性が高い」、「質が良い」の順に割合が高い。いずれの世代においても、安全性の高い農産物は、購入する際に重要視される傾向にある。

問3-2 問3で「9」を選んだ場合、その内容を具体的に入力してください。

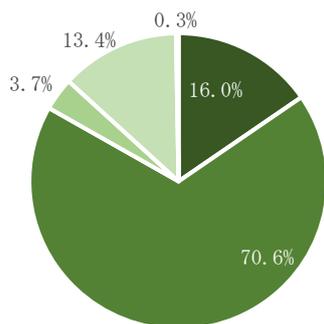
(主な意見)

- ・農産物を購入しようとした時に、品質とコストを天秤にかけた時にどう判断するかは、自分自身分からない。(70歳以上、北九州地区、男性)
- ・質が高く安全な農業生産と農家の方々の環境が良くなることは共感できる。(40~49歳、福岡地区、女性)

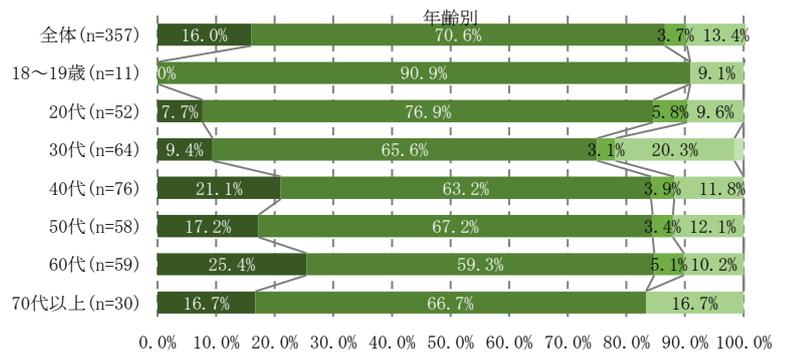
問4 あなたは、GAP認証を取得した農産物を購入したいと思いますか。

次の中から【1つだけ】選んでください。

全体 (n=350)



- 1 購入したい
- 2 どちらかといえば購入したい
- 3 あまり購入しようと思わない
- 4 わからない
- 5 その他



・「購入したい」、「どちらかといえば購入したい」と回答した割合は、世代を問わず70%以上である。

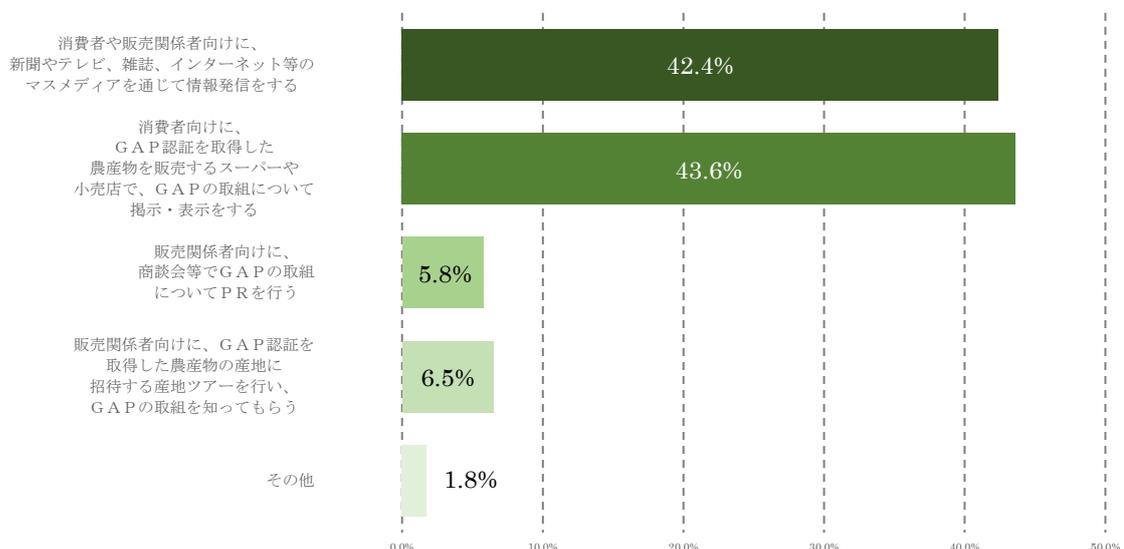
問4-2 問4で「5」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。

(主な意見)

- ・GAPとはどのようなものか不明。(30歳~39歳、筑豊地区、男性)

問5 あなたは、GAPの認知度向上のために、県からどのような支援が有効だと思いますか。

次の中から当てはまるものを【2つだけ】選んでください。



・「消費者や販売関係者向けに新聞やテレビ、雑誌、インターネット等のマスメディアを通じて情報発信をする」、「消費者向けに、GAP認証を取得した農産物を販売するスーパーや小売店で、GAPの取組について掲示・表示をする」の割合が高いことから、GAPの認知度を向上させるため、消費者、販売者向けのPRを強化、充実を図る必要がある。

問5-2 問5で「5」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。

(主な意見)

- ・GAP自身にもいろいろなものがあるようであり、複雑で良く分からない。制度自体の簡素化が必要ではないだろうか。(70歳以上、福岡地区、男性)
- ・旅先でしかお目にかかれなと思う。一般的な情報発信を考えては如何かと思えます(70歳以上、福岡地区、男性)
- ・GAPの認証効果、取得されていないものとの比較などをわかりやすく説明する。(50～59歳、福岡地区、男性)
- ・GAP認証の基準を積極的に消費者に伝えて下さい。認証があるから安全だ、では説明不十分です。この基準をクリアーしていますと教えて下さい。(50～59歳、北九州地区、男性)
- ・良いものであれば、市場で自然と選択されるものだと思う。(40～49歳、福岡地区、男性)
- ・SNSを活用するとよい。(20～29歳、福岡地区、女性)

問6 GAP(農業生産工程管理)について、これまでの設問以外にご意見がある場合は、その内容を具体的に入力してください。

(主な意見)

- ・GAPの取り組みは今後重要性が増すと思う。ぜひ、県主導で広報活動を行い県民の認知度を上げGAPが商品選択の動機となれば、生産者もGAP認証取得に前向きになるのではないか。(50歳～59歳、北九州地区、男性)
- ・聞き慣れない言葉だったのでもっとメディアでも詳しく説明してもらいたい。(40歳～49歳、北九州地区、女性)
- ・GAPに関わってなくても良い農産物を生産している事業者の方もいらっしゃると思う。量的な課題もあり、その方たちとの情報は広まっていない。生産者の多くの方がその様な生産が出来るといいなと感じる。(70歳以上、北九州地区、男性)
- ・一般消費者と一番接点が多い小売店やネットスーパーでの告知が良いかと思えます。(30歳～39歳、福岡地区、男性)
- ・販売関係者向けに、GAP認証を取得した農産物の産地に招待する産地ツアーを行うなど、GAPの取組を知ってもらうことが有効だと思います。(50歳～59歳、筑豊地区、女性)